

## 第131号

編集・発行  
2021・8・31

社会福祉法人  
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132  
三戸町大字在府小路町17  
TEL:0179(22)0262  
FAX:0179(23)4146

# さんのへ 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



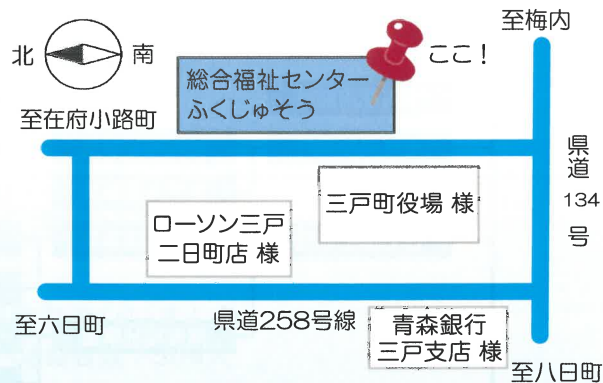
斗川小学校宿泊学習 町教育委員会所有の部活バスを降りる児童 町受託事業:部活バス運転業務(R3.6.24 県立種差少年自然の家)

### ■ おもな内容

ページ

- 役員・評議員の改選と組織図について ..... 2
- 令和2年度事業報告、決算報告 ..... 3~6
- 昔とった杵柄 シルバー健在 ..... 7
- 善意の窓、各種お知らせ ..... 8

### 社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

# 役員・評議員の改選と社会福祉協議会組織図について

任期満了に伴う役員及び評議員の改選が行われましたので、新しい役員・評議員と社会福祉協議会の組織体制についてご報告いたします。

新評議員は6月8日(火)の評議員選任・解任委員会で17名が選任されました。新役員は6月22日(火)の定時評議員会で理事10名、監事2名が選任され、同日の理事会で法人の代表である会長に関向文男、会長を補佐する副会長に藤村立夫、大庭礼子がそれぞれ選出されました。

新たな体制で、地域福祉の一層の推進に努めて参ります。

## 社会福祉法人の各機関について

社会福祉法人は業務執行の決定機関である**理事会**、法人運営に係る重要事項の議決機関である**評議員会**、理事の職務執行の監査を行う**監事**で運営されています。

### 役員 任期/令和3年6月22日 から 令和5年度定時評議員会終結の時まで

役員とは理事及び監事のことを指します。理事は業務執行の決定、会長等の職務の監視を担う理事会を構成します。監事は理事の職務執行の監査のため、事業の報告要求や、理事の行為の差し止め要求などの権限を有します。理事、監事ともに評議員会における説明義務を負います。

**会長** 関向 文男      **副会長** 藤村 立夫      大庭 礼子

**理事** 越後 秀      照井 良清      山下 正一      長野 悦子      原 佳毅      武士沢 忠正      畑中 千恵子

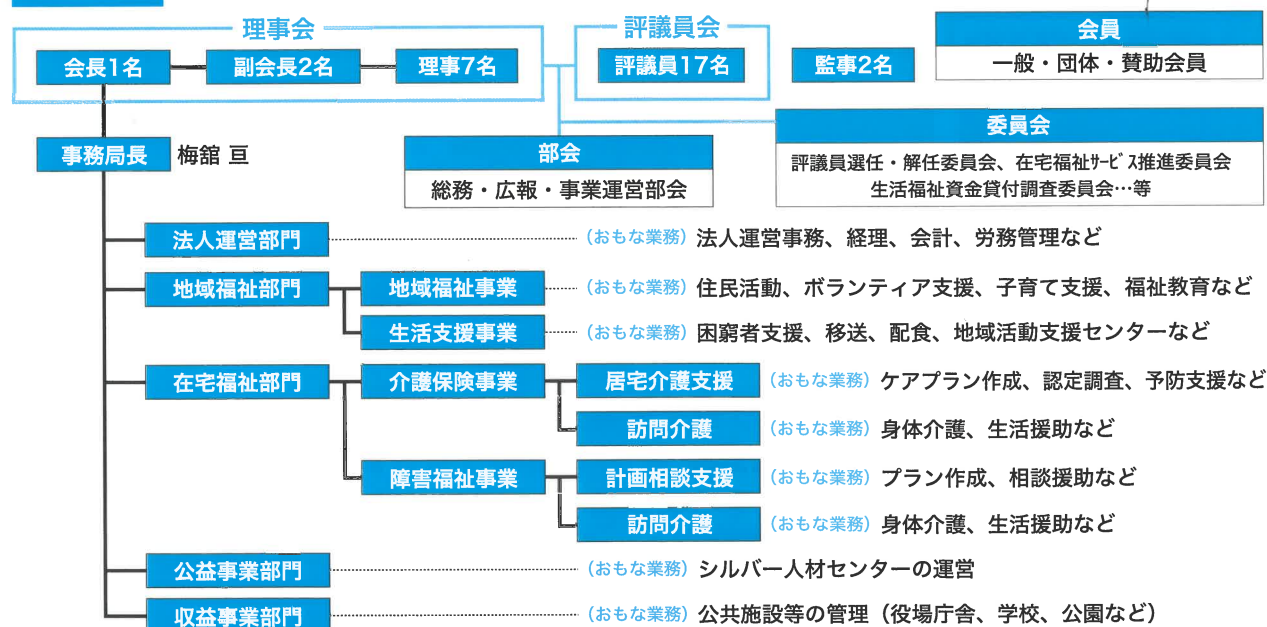
**監事** 齊藤 金造      佐藤 幸夫

### 評議員 任期/令和3年6月22日 から 令和7年度定時評議員会終結の時まで

評議員は議決機関である評議員会を構成します。評議員会は役員を選任・解任の権限を有し、事後的に法人運営を監督する機関として位置づけられています。定款の変更や計算書類の承認などは評議員会による決議が必要です。

山口 幸俊	佐藤 正	田中 愛一郎	松尾 武樹	中村 美枝子	差ヶ久保 彰美
米田 みや	山田 勝栄	小山田 孝兆	足澤 信行	藤沢 圭	武田 利明
笠嶋 洋子	松田 邦子	伊達 よしえ	馬場 均	太田 明雄	

## 組織図



# 令和2年度事業報告と決算報告について

令和2年度の事業および決算についてご報告いたします。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響によって多くの事業が中止や規模の縮小を余儀なくされました。事業の実施にあたっては、慎重な判断が求められるなかで、町民の皆様をはじめ、関係機関の皆様には多大なるご協力と温かいご助言、ご指導をいただき、誠にありがとうございました。

## 令和2年度事業報告



### 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

#### ■ほのぼの見守りネットワーク事業

地域住民による一人暮らし高齢者世帯等への見守り活動を行いました。併せて見守り活動の普及啓発や活動の推進のための研修会を行いました。

協力員数：117人 対象世帯数：146世帯 延べ活動日数：6,064日

#### ■ふれあいサロン事業、オレンジカフェ事業 【新型コロナウイルスの影響で中止】

(計画していた内容)

ふれあいサロン：常設サロンをふくじゅそうと勤労青少年ホームで開設し、地域サロンを地域住民と協働で実施する。

オレンジカフェ：地域の人をはじめ、認知症の人や家族、課題を抱える人等、誰でも来られて専門職との相談が出来るカフェを開設する。

#### ■福祉団体の事務局

福祉団体から委託を受け、各団体の事務局業務を行いました。

団体事務局：老人クラブ、介護者の会、障がい者の会、ひとり親の会

### 高齢者福祉の充実

#### ■寿なかよし会事業、家族介護者交流事業 【新型コロナウイルスの影響で中止】

(計画していた内容)

寿なかよし会：地域の高齢者を対象とした日帰りのレクリエーションを開催する。

家族介護者交流：介護者の精神的負担軽減を目的とした研修会を開催する。

### 障がい者福祉の充実

#### ■地域活動支援センター「憩いの森あすもこっ」の運営

心身に障がいのある方の社会参加を目的に創作的活動や製作活動の機会を提供し作業を指導しました。新型コロナウイルスにより主催行事は規模を縮小し、県内行事での出張販売の機会はありませんでした。

通所者数：7人（三戸町6人、南部町1人）

#### ■障がい者と子どもの交流会 【新型コロナウイルスの影響で中止】

(計画していた内容)

夏休みを利用し、心身に障がいのある人と中学生の交流会を開催する。

### 児童福祉の推進、ひとり親家庭への支援の充実

#### ■子ども見守り隊事業

地域のボランティアが児童の下校時に道路横断の見守りを行いました。

場所：久慈町バス停横断歩道 活動日数：204日 延べ活動者数：364人

#### ■ひとり親家庭相談援助事業

令和2年度に小中学校に入学したひとり親家庭の児童、生徒に図書カードを贈呈しました。

件数：14件 贈呈金額：42,000円



## ■乳児おむつ等購入費助成事業

令和2年度に子どもが生まれた世帯におむつ等の購入費を助成しました。

件数：38件 助成金額：189,831円

---

## 福祉教育、ボランティア活動の推進

### ■社会福祉大会、ボランティアの育成・支援、ボランティアスクール

高齢者と子どもの交歓会 【新型コロナウイルスの影響で中止】

(計画していた内容)

社会福祉大会：大会式典と福祉功労者への表彰、講演及び福祉の意見発表を行う。

※受賞者6名、1団体には表彰状を届けました。

ボランティアの育成・支援：ボランティア育成のための研修会を行う。

ボランティアスクール：小中高生が障がい者施設でボランティア体験を行う。

高齢者と子どもの交歓会：地域の高齢者と児童館の児童がレクリエーションで交流する。

### ■ボランティアセンターの運営

登録ボランティアがふれあいサロンの運営ボランティアを行いました。

ボランティアセンター登録者数：9人、2団体

### ■子ども福祉スクール

三戸小学校3年生を対象に高齢者疑似体験を行いました。

開催日：11月19日 場所：三戸小学校体育館 参加者数：59人

### ■子どもほのぼの交流員事業

三戸小学校4年生が講話と体験、高齢者との交流を通じて高齢者福祉について学びました。

ガイダンス／開催日：11月11日 参加者数：58人 交流会／開催日：11月26日 参加者数：66人

### ■福祉図書購入費助成事業

町内の小中学校に対し、福祉に関する図書の購入費を助成しました。

助成先：3校（三戸小中、斗川小、杉沢小中） 助成金額：80,000円（3校合計）

---

## 福祉情報の提供、相談支援体制の充実

### ■社協だよりの発行

広報誌「社協だより」を発行しました。

発行回数：4回（8月、11月、1月、3月）

### ■ホームページの運営

ホームページを活用して、事業や制度の紹介、イベントの周知を行いました。

### ■心配ごと相談事業

相談員が、心配ごとや困りごとに対して、助言やアドバイスを行いました。

開設日数：13日 相談者数：7人 相談件数：9件

---

## 社協組織の強化

### ■第2期地域福祉活動計画の策定

令和2年度に最終年度を迎えた第1期計画を見直し、新たに行政計画である地域福祉計画と一体となった計画を策定しました。

### ■社協会員増強運動

令和2年度も社協会員にご加入いただきありがとうございます。納入頂いた会費は地域福祉事業の貴重な財源として活用させていただきました。

納入件数：3,110件 納入金額：3,116,300円

---

## 地域生活支援事業

### ■外出支援サービス

寝たきりや車いすの人に対して病院や施設、公共機関への送迎サービスを提供しました。

延べ利用件数：1,659件

#### ■除雪支援サービス

有償ボランティアが高齢者世帯等に対して自宅玄関から生活道路までの除雪を行いました。  
稼働回数：254回

#### ■みまもり配食サービス

食事の用意が困難な高齢者等を対象としたお弁当の配達サービスを行いました。  
延べ食数：13,358食

#### ■福祉安心電話サービス

高齢者世帯等に安心電話を設置し、緊急時の安心、安全を提供しました。  
設置台数：39台

#### ■日常生活自立支援事業

判断能力に不安がある人に対し、金銭管理等の生活支援を行いました。  
利用者数：5人 支援員数：4人

#### ■福祉機器貸与事業

車椅子等の福祉機器の無償貸与を行いました。  
貸出件数：16件（内訳：車椅子7件、他9件）

#### ■生活福祉資金、たすけあい資金貸付事業

低所得世帯等に対して相談支援と金銭の貸付を行いました。  
相談件数：30件 貸付件数/金額 生活福祉資金：10件/1,550,000円 たすけあい資金：3件/85,000円

#### ■フードバンク事業

低所得世帯等に対して緊急的に必要な食料品や生活必需品の提供を行いました。  
利用者数：7人 利用件数：16件

---

## 在宅福祉サービス事業

#### ■居宅介護支援サービス（ケアマネジメント）

ケアマネジャー6人体制で、利用者が安心して生活するための支援を行いました。  
居宅支援業務：2,301件 介護予防支援業務：122件 要介護認定調査業務：4件

#### ■計画相談支援業務

障がいのある人が安心して生活するためのサービス計画を作成しました。  
利用件数：99件

#### ■訪問介護サービス

訪問介護員18人体制で、利用者への身体介護と生活援助のサービスを提供しました。  
利用者数：1,142人 利用件数：14,791件

#### ■障害福祉サービス

障がいのある人への身体介護と生活援助のサービスを提供しました。  
利用者数：114人 利用件数：1,517件

#### ■障害福祉サービス 養育支援育児・家事ヘルパー派遣事業…令和2年度新規事業

育児ストレスや産後うつ病等の問題によって、子育てに対して不安や孤立感を抱える家庭等に対して、育児・家事の援助を行いました。  
利用者数：7人 利用件数：72回

---

## 公益事業・収益事業

#### ■シルバー人材センター

定年退職者などのシルバー世代が、それまで培った技術や経験を生かして、企業や家庭からの草刈り作業等の依頼に応えました。  
会員数：33人 受注件数：243件 受注金額：7,531,021円 延べ就業人数：1,419人

#### ■三戸町一括受託業務

役場庁舎や小中学校、図書館などの公共施設の管理業務を行いました。  
管理施設：役場庁舎、歴史民俗資料館、城山公園他3ヶ所の公園、三戸小中学校他2校、部活バス等

# 令和2年度決算報告

## 資金収支計算書

資金収支計算書とは会計年度の支払資金の収入と支出の内容を示す表です  
(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	96,557,000
	障害福祉サービス等事業費収入	9,540,860
	会費収入※1	3,182,300
	事業収入	35,311,181
	共同募金配分金収入	2,410,000
	助成金収入	334,380
	受託金収入	81,763,510
	貸付事業等収入	185,000
	経常経費寄附金収入	284,381
	受取利息配分金収入	821
	その他の収入	505,711
	事業活動収入計(1)	230,075,144
	支出	
	人件費支出	185,780,216
	事業費支出	11,672,706
	事務費支出	25,455,356
	貸付事業費支出	85,000
	共同募金配分金事業費支出	600,000
	助成金支出	269,831
	事業活動支出計(2)	223,863,109
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,212,035
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
	固定資産取得支出	6,240,800
その他の活動による収支	収入	
	施設整備等支出計(5)	6,240,800
	支出	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-6,240,800
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	7,308,372
	その他の活動収入計(7)	7,308,372
	支出	
	積立資産支出	10,760,406
	その他の活動支出計(8)	10,760,406
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-3,452,034
予備費(10)		0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-3,480,799
前期末支払資金差額合計(12)		69,104,315
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)		65,623,516

※1 会費収入の内訳

社協会費	3,116,300円
シルバー人材センター年会費	66,000円

## 事業活動計算書

事業活動計算書とは1年間の事業活動を行った結果の損益を示す表です  
(単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	収入	
	介護保険事業収益	96,557,000
	障害福祉サービス事業費収益	9,540,860
	会費収益	3,182,300
	その他の収益	0
	事業収益	35,311,181
	共同募金配分金収益	2,410,000
	助成金収益	334,380
	受託金収益	81,763,510
	経常経費寄附金収益	284,381
	サービス活動収益計(1)	229,383,612
	費用	
	人件費	185,680,897
	事業費	11,672,706
	事務費	25,455,356
	共同募金配分金事業費	600,000
	助成金支出	269,831
	減価償却費	1,663,777
	国庫補助金等特別積立取崩額	-121,262
	徴収不能額	0
	基金組入額	284,458
	サービス活動費用計(2)	225,505,763
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	3,877,849
サービス活動増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	821
	その他のサービス活動外収益	505,711
	サービス活動外収益計(4)	506,532
サービス活動増減の部	費用	
	サービス活動外費用計(5)	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	506,532
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,384,381
特別増減の部	収益	
	サービス区分間固定資産移管収益	237,600
	特別収益計(8)	237,600
	費用	
	固定資産売却損・処分損	11
	サービス区分間固定資産移管費用	237,600
	特別費用計(9)	237,611
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-11
繰越活動増減差額の部	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,384,370
	前期繰越活動増減差額(12)	63,094,884
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	67,479,254
	基本金取崩額(14)	0
繰越活動増減差額の部	基金取崩額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	4,000,004
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	63,479,250

## 貸借対照表

貸借対照表とは会計年度末における全ての資産、負債及び純資産の状態を示す表です

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	82,436,616	流動負債	23,362,594
現金預金	63,611,722	事業未払金	14,020,265
事業未収金	15,636,018	その他の未払金	2,074,390
未収金	178,157	預り金	6,126
未収補助金	1,930,139	職員預り金	650,319
立替金	12,100	前受金	62,000
前払金	198,140	賞与引当金	6,549,494
前払費用	870,340	固定負債	51,932,860
固定資産	69,498,766	退職給付引当金	51,932,860
基本財産	1,000,000	負債の部合計	75,295,454
定期預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	68,498,766	基本金	1,000,000
建設附属設備	189,215	基本金	1,000,000
車両運搬具	4,635,133	基金	7,757,056
器具及び備品	2,404,936	福祉基金	7,757,056
電話加入権利	292,584	国庫補助金等特別積立金	189,214
ソフトウェア	1,224,774	国庫補助金等特別積立金	189,214
退職手当積立基金預け金	41,865,730	その他の積立金	4,214,408
退職給付引当資産	5,913,930	介護保険財政調整基金積立金	4,214,408
福祉基金積立資産	7,757,056	次期繰越活動増減差額	63,479,250
介護保険財務調整基金積立資産	4,214,408	(当期繰越活動増減差額)	4,384,370
その他の固定資産	1,000	純資産の部合計	76,639,928
資産の部合計	151,935,382	負債及び純資産の部合計	151,935,382

# 昔とった杵柄

## シルバー健在



### クドウ 工藤ナツエさんの巻

昭和十七年七月二十二日生まれ 七十九歳

今回のシルバー健在は、昭和39年7月に戦争未亡人の互助組織として設立され、平成31年3月に52年の歴史に幕を下ろした「三戸町母子寡婦福祉会（以下母子会）」の最後の会長を務めた工藤ナツエさんをご紹介します。

工藤さんは岩手県浄法寺町（現三戸市）に3人姉弟の次女としてお生まれになりました。

夫の勝二さんと出会い、三戸町の久川に。ここで二男一女、3人のお子さんを育てました。

お子さん達が家を出て、夫婦ふたりの暮らしとなったのも束の間、平成17年に夫勝二さんが病に倒れ、帰らぬ人に。65歳の若さでした。「突然のことだったの。でも今思えば、夫自身は薄々気づいていたのかもしれないね」と工藤さん。

さて、もともと積極的な人前に出る方ではなかったという工藤さんが母子会と出会い、最後は会長を務めるわけですが、そこにあったのは人と人とのつながりでした。

勝二さんが亡くなった数か月後、工藤さんは老人クラブに誘われます。声をかけたのは久川地区の老人クラブ「久川鶴寿会」で当時女性部長を務めていた玉川ノブさん（※1）。

「ひとりであるよりはいいかな」と軽い気持ちで加入したところ「あんたが一番若いんだからと、集まりがあるときは足の悪い人の送迎や付き添い役をよくやったものよ」と、忙しい役割にこの頃は気を紛らわされていたようです。「みんないい人ばかりでね、料理をしたり、カラオケをしたりと楽しかった」と話すとお

り、いまでも老人クラブの活動には参加。

「行っても私は手を出さないの。目が悪いから、かえって迷惑をかけちゃうでしょ？静かにお弁当を食べてね、今はそうして楽しんでるの」と工藤さん。

そして母子会への加入も玉川さんの誘いによるものでした。

「母子会が会員を募集してる、母子会の事務局長が友達を連れて遊びに来てと言ってるから、一緒に行こう」と誘われるがまま、公民館に行ったそうです。

「参加費は？」と聞いても、いらないうて言われてね。そして母子会は旦那を亡くした人の会だからあなたもどう？って誘ってくれてね。ありがたしい入りたい気持ち。あはあつたんだけど……とどこか気持ちの整理がつかず、すぐには入会を決めま

せんでした。しかしその後、当時の会長の畑中良子さんが外で会う度、親しく誘ってくれたそうで、約2年後に入会の運びとなりました。この時を思い出して「定期的に集まっているからね、という日頃の誘いを思い出して公民館を訪ねたら、丁度その日は定時総会でね。皆さんきちつとした格好をしているから驚いたのよ。でも、よく来た、まあ座ってと温かく迎えてくれて。私の分のお弁当もどこからか用意してくれてね」と懐かしそうに話してくれました。

母子会に入会してから毎月が集まりが心からの楽しみになった工藤さん。以前紹介した下野キヨさん（※2）をはじめ多くの仲間と出会い「母子会は家族のように居心地のよい場所だったの」と話すくらいに、丁度いい距離感を共有できていたのでしょう。

特に会長の畑中さんには良くしてもらったと話している「料理も上手だし、プロだから色々な洋裁を教えてください。私ものづくりが好きだから、生地を組み合わせてひとつひとつも本当に勉強になったの。聞き上手な人で、慰安旅行でもバスで隣り合うと私のおしゃべりをうんうんと聞いてくれてね。長い付き合いではなかったけれど本当によくしてくれたの」と入会から3年ほどで亡くなった畑中さんとの思い出を話しておられました。

畑中さんは亡くなる前に、工藤さんのためにチョッキを縫ってくれました。娘さんが「母が生前工藤さんという方のために縫ったものだ。連絡をとりた」と社協を訪ねてくれたことで、無事工藤さんの手元に渡ることになります。「せめてお礼をと言っても固辞され、形見だと思つて受け取った。寸法を測られたことは無いのにびったりで、さすが畑中さんだなと思った。いまでも大事に着ているの」と工藤さん。

一方で、この時母子会としては会長が亡くなり、後任が決まらないなかで会の存続が危ぶまれる状況でありました。

人前に出るのが苦手な性の工藤さんでしたが、「母子会は居心地のよい場所だった。みなそう思っていたから、存続させたいという思いは一緒だった」と周囲の後押しもあり平成23年に会長に就任。以後解散までの約8年にわたって会長を務めあげました。

東京や仙台のお子さん、お孫さんは毎年連休には帰ってきてくれるそう。「コロナだから、いまは来ちゃダメと言ってるの」と苦笑い。はやく平穩が戻って欲しいですね。



畑中さんとの思い出のチョッキ。グレー地にパイプリー柄の裏地が映えます。

※1 第93号H22・6掲載  
※2 第116号H30・8掲載



# 善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、  
ありがとうございました。

(令和3年6月1日～令和3年7月31日まで)

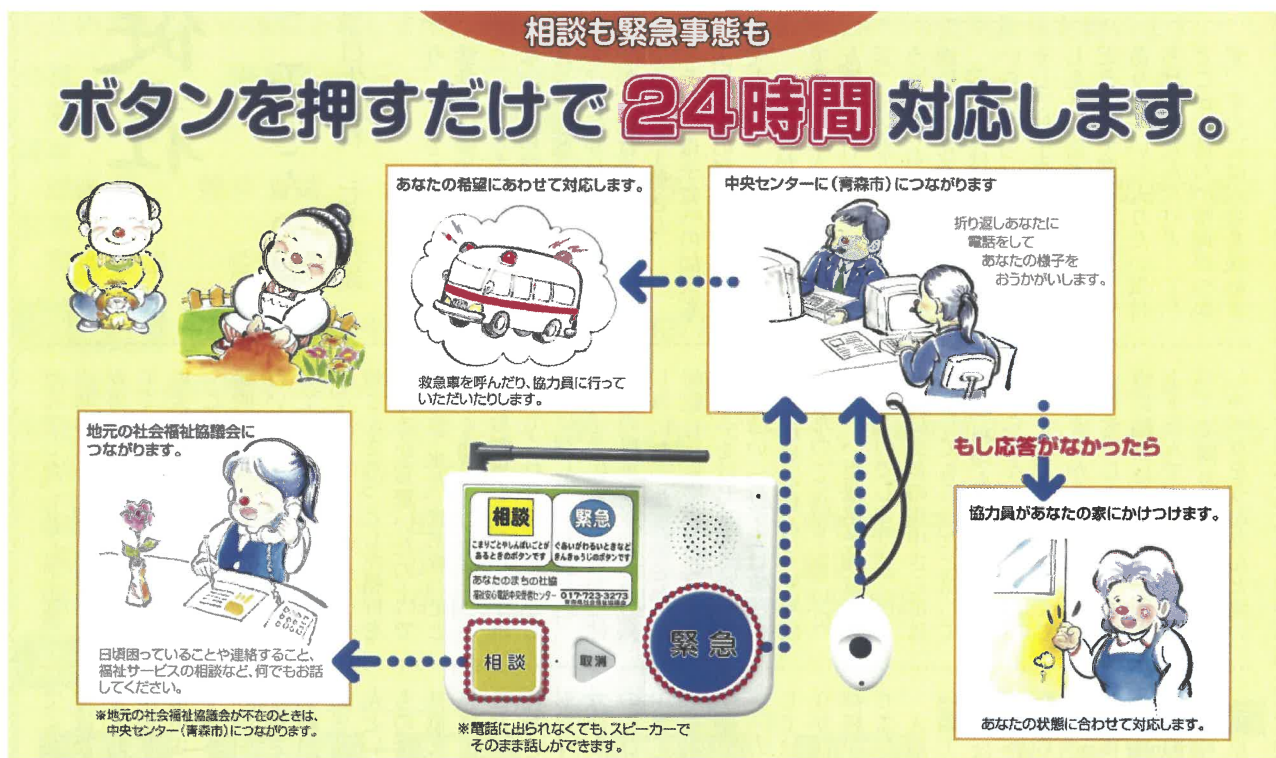
物品の部 ・三戸ライオンズクラブ 様 ..... 食料品  
・株式会社かんきょう 様 ..... シルバーカー

寄せられた善意は、地域福祉活動のために使わせていただきます。

## ひとり暮らしや高齢のご夫婦だけの暮らしが不安な方へ

「急に具合が悪くなった時、自分で救急車を手配できるだろうか」「家で転んで動けなくなったら誰か気付いて来てくれるだろうか」、こうした不安は、一人暮らしはもとより、家族と暮らしていても、ご高齢の方の多くが感じることだと思います。

**福祉安心電話サービス**はこうした不安を解消し、皆さんの暮らしに安心と安全を提供する24時間対応のサービスです。まずはお気軽にご相談ください。



### 緊急ボタン



緊急ボタンを押すと、青森市の中央センターが対応。状況を聞き取りして、救急車や協力員を手配します！

### 相談ボタン



相談ボタンを押すと三戸社協につながります。普段の困りごとや悩みごとの相談にお使いください。

### 火災報知器



火災を検知すると自動で中央センターに通報。同時に「火事です」と警報を発します！

■**利用対象者**…ひとり暮らしで不安、高齢者夫婦で不安、持病や障がいがあるので不安など、様々な理由で使うことができるので、**まずはご相談ください。**

■**利用料金**…安心電話の料金は工事費、月額などすべて**無料**です。費用は三戸町からの補助金と青森県社会福祉協議会からの助成金で賄われています。

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146